

2025年3月10日

令和6年度 第2回コロラド安全対策連絡協議会 議事録

1 概要

開催日時	2025年3月7日（金）14：30～16：15	
開催場所	在デンバー日本国総領事館会議室	
出席団体	コロラド州沖縄県人会	コロラド日本語学校補習校
	在デンバー日本国総領事館	デンバー日本語補習学校
	ロッキーズ日本語アカデミー	ロッキーマウンテン日系企業会
	Japanese Career Women	

2 議事

(1) 開会挨拶

在デンバー日本国総領事館総領事より開会の挨拶として以下のとおり発言。

本協議会は在留邦人コミュニティと総領事館との双方向で情報共有を図る場として開催している。ぜひ出席者からの忌憚のない意見等を頂戴したい。

日本国内の報道を見ると、タイ・ミャンマー国境付近で多くの人が特殊詐欺に加担させられるなどの事件が発生している。また、直接の関係性は確認できていないが当総領事館にも特殊詐欺の被害にあったという相談が寄せられた。外務省では領事メールやホームページを通じ、特殊詐欺の「加害者にならないために」及び「被害に遭わないために」といった注意喚起をするとともに相談窓口を設置しているので参考にさせていただきたい。

安全対策は国や地域によっても違いがあり、当地では引き続き銃撃事件に注意が必要であることから、本日はFBI デンバー支局から講師を招き、安全講習をお願いしている。是非、各団体へ情報を展開していただきたい。

(2) 出席団体紹介

各出席団体の紹介がされた。

(3) 最近の治安情勢（別添1 最近の治安情勢）

ア 治安情勢に関する情報共有として、コロラド州の犯罪件数は2022年と2023年を比較すると約9.23%減少した。

イ 暴力犯罪について、人口10万人あたりの発生件数を他州と比較するとコロラド州はワースト上位にあり、依然として防犯に関する注意が必要である。

- ウ 最近の犯罪事例として、デンバー都市圏で高額侵入窃盗（空き巣）事件が多数発生したこと、また、刃物による殺傷事件及び日本の公的職員を装った特殊詐欺事件について事案概要と具体的な予防策、注意事項が紹介された。
- エ 一般犯罪の被害に遭わないためのポイントとして「安全対策のための三原則」の説明がされた。

(4) その他（総領事館からの連絡事項）

- ア パスポート作成について、本年3月24日からパスポートの偽変造防止を強化するため、顔写真のページがプラスチック素材の「2025年旅券」が発給される。それに伴い、現在は申請から交付まで約7日で行っていたが、3月24日以降は、パスポートは日本国内で作成され、在デンバー総領事館まで配送されることとなるため、最短でも3週間以上の日数を要することとなる。更新する際は早めの申請を推奨している。（別添2：旅券（パスポート）の変更について）
- イ 旅券及び証明を申請する際の戸籍謄（抄）本の提出について、3月24日より外務省と法務省間で戸籍情報のシステム連携が開始される。これにより、旅券及び身分事項に関する証明等の申請の際に、「戸籍電子証明書提供用識別符号」（以下、「符号」という。）を提示することで紙の戸籍謄（抄）本の提出が不要となる。また、オンラインにて申請する場合には申請画面に符号を入力することで申請が可能となる。詳細は資料をご参照いただきたい。（別添3：在外公館で旅券及び証明を申請する際の戸籍謄（抄）本の提出について）
- ウ 在外選挙人名簿への登録について随時登録受付を行っている。また、令和7年夏に行われる参議院議員選挙に向け、当館館員が各所に出張しての受付も可能である。出張受付の希望があればお声掛けいただきたい。

(5) FBI デンバー支局による安全講習

- ア 銃撃事件（Active Attack）の特徴として、まず犯人に共通する身体的特徴はほとんどなく、年齢層は幅広い。唯一の特徴は犯人のほとんどが男性であることがいえる。また、事前にSNS等で犯行を告知することがあり、精神疾患を患っていたり、自殺願望のある者が犯行を犯すことが多く、事件の前から孤立している場合がある。
- イ 統計上、銃撃事件（Active Attack）が頻繁に発生しているのは学校というイメージがあるが、最も多く発生しているのは職場である。犯人の6割以上が標的となった場所等との繋がりがあり、その場所に対し不満を持っていた。
- ウ 銃撃事件（Active Attack）は平均して3分以内に終わっているため、その間にどの

ようにして自身の身を守るかを知ることが重要。その一つは事件への反応を素早くすることであり、そのためには日頃から訓練することを推奨する。また、勝手な推測（屋外でパンっといった破裂音が聞こえた際、勝手に花火の音だと判断して避難をしない等）をせず、すべき行動を正しく判断することが大切である。

エ ストレス度の高い状況では、運動能力及び思考能力が低下し、慣れている動作でも通常時よりも時間が掛かることが分かっている。スマートフォンに緊急ボタンが設定されているのは、極度の緊張下では911を押下することも出来なくなるためである。

オ 事件に遭遇してしまった場合の対応

(ア) Avoid = Run

できるだけ早くその場から逃げる。

自分のいる施設（特に人が多く集まる学校や教会等）の出入口を把握しておく。

(イ) Deny = Hide

室内に隠れ、鍵を閉め、明かりを消し、スマートフォン等の音を切り、犯人に気付かれないようにする。

時間稼ぎのために扉前にバリケードを形成（内開きの扉には机や椅子など置き、外開きの扉はベルトやロープなどで固定）する。

(ウ) Defend = Fight

戦うとなった場合にはポジショニングに注意し、何をしてもいいので銃撃を防ぐ。

カ 警察官が現地に到着した際は次の3点、「何もしない」、「指示に従う」、「手のひらを見せて低姿勢をとる」を守って欲しい。

(6) 質疑応答・意見等

ア 室内に隠れ、扉の前にバリケードを形成した場合、外部にいる人を室内に入れることができず、守ることができなくなるがどうすればよいか。

(回答：FBI)

責任者として心苦しいとは思いますが、残念ながら全ての人を守ることはできない。自らとそばにいる人を守ることを最優先に行動してほしい。

イ 銃撃事件に遭遇した場合にはパニックになると思うが、パニックを和らげるためにはどうしたらよいか。

(回答：FBI)

日頃からのトレーニングが重要。トレーニングができない場合には、その状況を考え、どのように行動するのかをシュミレーションしておくことが大切である。尚、

トレーニングは年齢の小さい頃から始めることで、回数を重ねられ、事件への反応を早めることができるという2つの利点がある。

ウ 週に1回の学校でも訓練する価値はあるのか。

(回答：FBI)

もちろんある。何がいつ発生するかわからないので日頃から訓練することが大切である。

エ 犯行を行う者はどのような意図を持って、どのような場所を狙うのか。

(回答：FBI)

明確な回答はなく、状況によって異なる。どのような意図であれ、人が多い場所を狙われやすい。

オ 犯行を行う者は特定の人を狙って撃つのか、ランダムに撃つのか。

(回答：FBI)

明確な回答はないが、大量殺人を目的としているので、誰を狙うかよりも大量に銃撃することが多い。また、使用される銃器に関しては銃弾の発射されるスピードが速く、大量に撃つことのできるものが選ばれる。

カ 高齢者や素早く動けない人が多い場合にはどうしたらよいか。

(回答：FBI)

繰り返しになるが、日頃のトレーニング（訓練）が重要。トレーニングができないときは、どのように行動すればよいか（まずは身を屈めるなど）等、具体的な指示を説明し伝えておくことが大切である。逃げるのに時間が掛かる人のためには、多くの時間を稼ぐことやサポートする人がそばにいることが重要になる。

キ 今回の資料を提供いただけるか。

(回答：FBI)

資料を共有することはできないが、各団体等に出向いて講義をすることは可能である。

ク (FBI 担当者より、) 銃撃事件の予防に関し、セキュリティや銃を携帯できる人員を増やしても、十分な訓練を積んでいない者が増えるだけになってしまい解決には至らない。皆さんができる大切なことは訓練を繰り返し行い、日常の会話の中で逃げ方などを話題にすることで日頃からリマインドすることである。

(7) 閉会挨拶

在デンバー日本国総領事館首席領事より開会の挨拶として以下のとおり発言。

皆さん、ご承知のことと存じ上げるが、本日共有した日頃の防犯対策とともに有事に向けた

訓練等もとても重要である。引き続き、犯罪等の被害に遭わないために本協議会の内容をご活用いただきたい。

添付資料

別添 1：最近の治安情勢

別添 2：旅券（パスポート）の変更について

別添 3：在外公館で旅券及び証明を申請する際の戸籍謄（抄）本の提出について